

十月十三日（火）二校時

T 自分の書いた作文を机の上に出してください。

おはようございます。一生懸命作文書いてくれてありがとうございます。書いている様子、分かりました。

T 書くとき、約束しましたね。一つは数字を漢字で書いてください。もう一つは「。」を付けて短く切って書いてください、でした。よく聞いて書いているなあ、と思いました。短く切る、というのが上手になりましたね。

そのほかすばらしいところがありました。まずは、ネタ。ネタ集めの上質な三年生だと思いました。お勉強上手です。とちゅうで見直し、きちんとしていました。ちゃんと聞いていましたね。

題の付け方。短く付けてください、とお話ししました。よく聞いていて、きりっと短く付けていた。そして、工夫があります。

T さっそく、紹介します。

高橋いつきさん、山田しょうたさん。二人とも「きょうりゅう」という題で書いてくれました。二人は恐竜博士だな、と思いました。同じ趣味のある友達がいるのは楽しいですね。

佐々木のぞみさん。「家の手伝い」という題です。皿洗いとお風呂掃除のことを書いてくれました。気持ちが書いてあつてね。「ピカピカになると気持ちがいい」と書いてありました。おうちの人は何か言いませんか。

C 言わないです。

T そう、心の中で何か思っていることあるかもしれないから、今度聞いてみるといいかもね。働き者でえらいなあ、と思いました。

こまつゆうがさん、かとうこなさん、こんのまなせさん。この三人は、まったく同じ題、「コンパスの円」という題で、書いてくれました。どうやったら上手に円がかけるのかな、というところで、ポイントとこつを書いているんです。みんなちがうところをちゃんとつかまえてね、こうやるといいんだという工夫を書いているんだけど、工夫がすばらしいなあ、と思いました。

さいとうゆうしんさん、「スナック・ワールド・トレジャー・ゴールド」という題。何かなあと思ったら、はまっているゲームの紹介でしたね。つづく、になってなので、ぜひ続けて、ここがおもしろいとか書いてみんなに教えてあげたら喜ぶと思いますよ。

かとうとあさん。「じゅく」という題で、塾で算数の勉強を頑張っていることを書いています。とつてもがんばりやさんですね。

さとうりいとさん「水泳でがんばったこと」、すずきとしゆきさん「がんばったせいかな」という題です。これ、二人ともスイミングのことなんです。・・・おおなるほど、もっと習っている人いるのね。

*印について説明する。

○ 一回読んだ

◎ 二回読んだ

三重○ 三回読んだ

小さい○付：後でお手伝いもらう



*「ぼくも…」とスイミングのことを話す児童。

二人とも、頑張って上手になったこととか、スイミングのいいところを紹介してくれていました。スイミングの先生、喜ぶと思いましたよ。

いわぶちやすなりさん。「うちのペット」という題でね、若い猫のねむちゃんと、お年寄り猫のこむちゃんのこと、二匹の猫のすることを紹介してくれています。猫のこと、好きなのかな。(C はい。)やっぱりね。読んだときにね、きつと猫ちゃんを好きなんだなあって先生は感じました。

C ぼく、猫アレルギーです。

T あら、かわいそう。切ないねえ。気の毒ね、かわいそう。

T 聞いてほしい作文を読んでもらいます。

えんどうそうたさん、その場に立って、書いた作文をそのまま読んでください。大きい声でみんなに聞こえるように読んでくださいね。

C 「じゅうどう」 えんどうそうた

「ぼくは、ならいごとをならっています。りゆうは友達がならってて、ぼくもやりたいと思ったからです。・・・(以下全文読む)」

T ありがとうございます。しっかり聞けましたね。技の掛け方や教え合いをして頑張っていることとか、一緒にやってみませんか、というお誘いをしているんですね。なんだか、やってみたいな、と引き込まれる感じがしました。

次、武山ほのかさん。お願いします。

C 「からて」 武山ほのか

「わたしは空手を習っています。空手には、かた、組手、・・・。わたしが好きなたは・・・。かたは、一こ一こていねいに、かんきゅうをつけてやります。・・・(以下全文読む)」

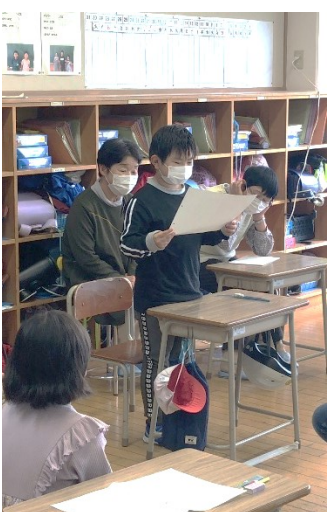
T ありがとうございます。とても大きい声で、聞きやすかったですね。文章もまとまりがあって、内容とか種目とか、上手に紹介しているなど思います。次は、大会での試合ぶりとかを書いてみると、先生、次そういうのを読みたいな、と思いました。チャレンジしてみてください。ささはらみらいさん。お願いします。

C 「犬のペット」 ささはらみらい

「わたしは、庭で犬をかっています。名前はランちゃんです。最初、男の子だと思っていたら女の子だったのでびっくりしました。・・・(以下全文読む)」

T 女の子でびっくりして、首輪が外れて脱走事件でまたびっくりして、・・・ペットを飼っていると、事件が起きるんですね。その事件の様子がとてもよく分かりました。

T これから、しょうじここさんの作文を書いてみんなで勉強したいと思います。自分のをしまつて、原稿用紙を出してください。先生が読みながら、黒板に書いていきます。聞きながら書いてください。



カメの世話

庄子 心愛

わたしは、カメをニひきかっています。名前前は、リボンとちくわです。ニひきとも体が大きくて、足が速いです。ときどき、外に出て、さん歩をします。ちゃんと見ていかないと、どこに行ったのか、分からなくなるとときどき、あります。

リボンは、体のこつらが小さくて、せまい場所が大スキです。よく、花のねっこの方にかくれます。

ちくわは、えさが大スキです。毎日えさをあげています。が、ときどき、リボンのえさを取る、ことがあります。なので、少しだけリボンより大きいです。

ニひきとも わたしになついているので、おもしろいことができます。足の間をくぐったり、わたしのうしろをついてくることができます。

T 早いですね、みなさん。大丈夫？書き終わっている？

これはここのさんの作文で、自分の名前がないので、ますの外側に自分の名前を書きましょう。

T ここなさんに読んでもらいます。とても長い作文でしたので、全部は書いていません。ここのさんは自分の作文を全部読んでください。みなさんは黒板を見ながら聞いてください。

C (自分の作文を読む。最後に、

「けれども、水そうの中に入れると、・・・」と続きが加わる。)

T ありがとうございます。とっても上手に読んでくれましたね。この中身を考えていきたいと思うのですが、・・・ペットは何でしたか。

C カメ。

T 名前は。

C リボンとちくわです。

T 名前も楽しいですね。誰が付けた名前かな？

C わたしがつけました。

T 分けて書いてありました。分けているところを・・・(4つ、番号を付ける)。



*書き終わると、板書を読み返す。

*「一行目、上三ますあけて、かめの世話。二行目下の方に、しょうじここな。三行目、一ますあけて『わたしは てん』・・・」
と、はっきり読みながら書く。
「てん」「まる」も声に出す。
「行を変えて、上から一ますあけて」も明確に伝える。

- T 1のところは、だれのことを書いているの。
- C リボンとちくわのことです。
- T 2はだれのこと。 C リボンです。
- T 3はだれのことを書いていましたか。 C ちくわです。
- T 4はだれのことを書いていましたか。 C 二ひきです。
- T こういうことが、まとまりを考えて書いてあります。よく見ているな、と思ったところありませんか。
- C リボンのこうらが小さいこと。
- C なついているところをよく見ていると思いました。
- C 二ひきとも体が大きい。
- C ちくわはえさが大好きなところ。
- T えさが好きだからどうしてるの。
- C ちよつと多めにあげている。
- C リボンのえさをとることがあります。
- T そうそう。ほかにもありますか。
- C ちゃんと見てないところに行つたか分からなくなります。
- T よく見ているんです。それから、え、そうなの？知らなかった、おどろいた、ということとは？
- C おもしろいところ。
- C 二人とも足がはやいところ。 C 同じです。
- T 先生も、え？かめなのに？って思いました。
- T おもしろいな、と思ったところは？
- C リボンのえさをとるところ。
- C せまい場所が大すき。
- C 足の間をくぐるところです。
- C よく花の根つこの方に・・・のところですか。
- C うしろをついてくるところです。
- T 先生、これを見たとき、桃太郎みたい、と思いました。
- ここなさんがとってもお世話をよくやっていること、かめがここなさんを大好きなことが分かる言葉があるんですよ。
- C わたしのうしろをついてくる？
- C なついている。
- T そう、「なついている」。お世話しなかったらなつきませんよね。うちの人や周りの人、何か言いませんか？
- C あんまり言いません。
- T そうなの。これは「カメ使い」なんて、先生は思いました。もし何か言われたら、書いておくといいと思います。ここさんの作文は書いてあることのまとまりがはっきりしていて、とても読みやすいんです。もう一つ、習った漢字を精一杯使おうとしている。そういうところ、いいなと思いました。
- では、終わります。



*児童の発言を板書で確かめたり、線を引いたりする。